



Total Quality Education

Copyright ©, 2001, 2002.

(社) 日本品質管理学会 TQE 特別委員会 2011年3月25日 (金曜日) 第21号

初等中等統計教育“問題解決力の強化”試案検討! への支援を目的に



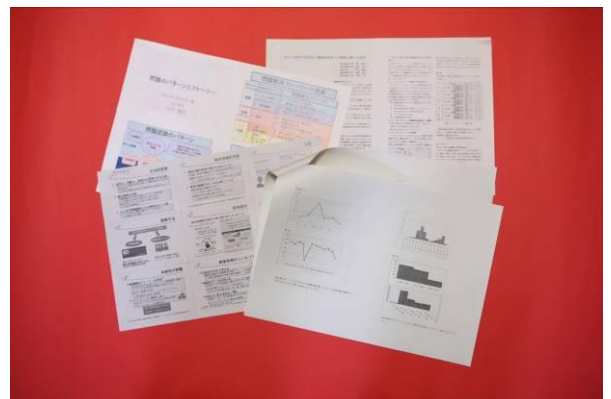
鈴木研究室の田中さんの発表風景



鈴木研究室の山下さんの発表風景

3月25日(金曜日)午後3時から電気通信大学電気通信学部情報システム学研究科鈴木研究室において、品質管理学会のTQE特別委員会が展開しようとしている初等中等統計教育への《問題解決力》の向上を支援するための教材用試案を検討するTQE WG (Working Group) の研究会が開催されました。

TQE特別委員会の鈴木委員の開会挨拶後、早速、学生の皆さんが考えた「統計教育支援システム」や「問題のパターンとストーリー」、「QC七つ道具の活用法と論理的思考力の関係に関する研究」をテーマにパワーポイントや資料による発表を聞き、成城大学の神田TQE委員の指導の下、議論を交わし、午後5時終了しました。



TQE特別委員会が先の学習指導要領の改訂に基づき小中高等学校での《問題解決力》強化のための統計用教材を支援する目的で検討、試作を繰り返しているもので、小学生や中学生が自らデータを収集し、分析したり、それらデータを基に解決策を考えるよう工夫されています。

「統計教育支援システム」では、授業支援のための「テレビプロデューサーになろう！」の切り口で、小学生に人気のテレビ番組に関するデータを収集、分析することで身近なデータの活用法を身に付けられるよう工夫したものが提案されました。

QCサークル活動などで活用されている「問題認識のパターン」に基づく「問題解決ストーリー」が紹介されました。

また「QC七つ道具の活用法」については“チェックシート”に始まり“グラフ”や“パレート図”、“ヒストグラム”や“特性要因図”などが論理的思考力にどのように役立つかが議論されました。

“生きる力”を身に付けるには《問題解決力》の強化とグラフなどQC手法が役立つことが期待されており、小中学生の能力強化に役立てるため、今後もWG活動を重ねることになりました。